

②妊娠希望でメルカゾール服用中の方に



ポイント：

妊娠初期にメルカゾールを服用していると稀ですが、児にメルカゾール特有の奇形がでることがあります。

その奇形を避けるために、月経が規則正しい 28 日周期の方は、予想される月経が 2-3 日遅れた時点でメルカゾールを中止し、月経があればメルカゾールを再開してください。

妊娠が判明したときは、お渡ししているヨウ化カリウム丸を 1 日おきに 1 丸服用し、なるべく早く受診してください。

メルカゾールと胎児奇形について

- ・メルカゾールを服用している妊婦と健常妊婦では、奇形の頻度に差はありません。
- ・しかし、妊娠初期にメルカゾールを服用していると頭皮欠損、臍腸管瘻または尿膜管残存、臍帯ヘルニア(へそに関連した異常)、後鼻孔閉鎖(日本では少ない)、食道閉鎖(日本では少ない)というメルカゾールに特有な奇形がでることがあります。
- ・メルカゾールに関連した奇形のほとんどはへそに関連した奇形や頭皮が欠損するもので、ほとんどは生後の手術でよくなるものです。
- ・しかしながら、これらの奇形を回避するために、現時点では妊娠 5 週までに極カメルカゾールを避けた方がよいと考えています。
- ・妊娠 16 週以降はメルカゾールを服用しても問題ありません。

妊娠希望されている方のメルカゾール内服治療について

- ・まず、計画妊娠をお勧めします。
- ・甲状腺機能亢進症による母体の心不全、妊娠中毒症、胎児の流産、発育遅延のリスクがありますので、甲状腺機能のコントロールが重要です。すなわち、メルカゾールで甲状腺ホルモンを正常にして落ち着いた状態になってから妊娠した方が安全です。できれば、メルカゾールを 1 日に 1 錠、もしくは 1 日おきに 1 錠まで減量した状態が妊娠には適しています。

- ・ しかし、メルカゾールの減量が難しく内服量が多いときは、別の治療法（手術・放射線治療）に変更するか担当医と相談してください。
- ・ メルカゾールからチウラジールへ変更する方法もありますが、効果が弱いこと、重症肝炎や腎障害などの副作用がある、という欠点がありますので担当医と相談してください。

実際の対応について

- ・ 月経が規則正しい 28 日周期の方は、予想される月経が 2-3 日遅れた時点でメルカゾールを中止し、月経があればメルカゾールを再開してください。妊娠が判明すればお渡ししているヨウ化カリウム丸を 1 日おきに 1 丸服用し、なるべく早く受診してください。
- ・ 月経が 28 日周期でない方や乱れる傾向にある方は、基礎体温をつけてください。排卵日から 16-17 日過ぎても月経がこない場合にはメルカゾールを中止し、月経があればメルカゾールを再開してください。妊娠が判明すればお渡ししているヨウ化カリウム丸を 1 日おきに 1 丸内服し、なるべく早く受診してください。